

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】令和 4 年 9 月 20 日(2022.9.20)

【公開番号】特開 2021-115059(P2021-115059A)

【公開日】令和 3 年 8 月 10 日(2021.8.10)

【年通号数】公開・登録公報 2021-036

【出願番号】特願 2020-8207(P2020-8207)

【国際特許分類】

A 63 F 7/02(2006.01)

【F I】

A 63 F 7/02 320

10

【手続補正書】

【提出日】令和 4 年 9 月 8 日(2022.9.8)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

20

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技者による操作対象とされる操作部と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行可能な図柄実行手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

前記操作部を摸した摸画像表示を行う摸画像表示手段と、

操作受付が許容される操作許容状態を発生可能であり、該操作許容状態で前記操作部に対する操作受付がなされると受付後変化を生じさせうる操作実行手段と

30

を備え、

前記操作許容状態として、所定の操作許容状態及び特定の操作許容状態が少なくとも用意されており、

前記所定の操作許容状態では、前記操作部として少なくとも所定操作部に対する操作受付と特定操作部に対する操作受付とが許容されるが、前記所定操作部を摸した前記摸画像表示と前記特定操作部を摸した前記摸画像表示とのいずれもが表示されない秘匿区間のみによって構成されうるものであり、

前記特定の操作許容状態では、前記操作部として少なくとも前記所定操作部に対する操作受付と前記特定操作部に対する操作受付とが許容されているなかで、前記所定操作部を摸した前記摸画像表示と前記特定操作部を摸した前記摸画像表示とがそれぞれ表示される摸画像表示区間と、前記所定操作部を摸した前記摸画像表示と前記特定操作部を摸した前記摸画像表示とのいずれもが表示されない秘匿区間とが含まれており、前記秘匿区間は、前記摸画像表示区間が開始されてから予め定められた時間が経過したときに現れうるものであり、

40

前記所定の操作許容状態において、前記特定操作部は、複数回の操作受付が許容可能とされており、該特定操作部に対する操作受付がなされるとこれに応じた受付後変化の 1 つとしての受付後表示が表示可能とされ、該受付後表示が表示されているなかで前記所定操作部に対する操作受付がなされたとしてもこれを契機として該表示状態にある前記受付後表示が非表示にされることはないようになっており、

前記特定の操作許容状態において、前記特定操作部は、複数回の操作受付が許容可能と

50

されており、該特定操作部に対する操作受付がなされるとこれに応じた受付後変化の１つとしての受付後表示が表示可能とされるが、該受付後表示が表示状態にあるなかで前記所定操作部に対する操作受付がなされた場合は、これを契機として該表示状態にある前記受付後表示が非表示にされうようになっており、

さらに、

前記特定の操作許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があり、

前記特定の操作許容状態は、当該特定の操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第１変動パターンで実行されていた場合は、前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する

10

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００５

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００５】

このような従来の遊技機では、遊技興趣の低下を抑制することが求められる。

20

【手続補正３】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】０００７

【補正方法】変更

【補正の内容】

【０００７】

手段１：遊技者による操作対象とされる操作部と、

判定を行う判定手段と、

前記判定手段の判定結果に基づいて図柄変動を実行可能な図柄実行手段と、

前記判定手段による判定にて所定の結果が得られたことに基づいて遊技者に特典を付与しうる特典付与手段と、

30

前記操作部を摸した摸画像表示を行う摸画像表示手段と、

操作受付が許容される操作許容状態を発生可能であり、該操作許容状態で前記操作部に対する操作受付がなされると受付後変化を生じさせうる操作実行手段と

を備え、

前記操作許容状態として、所定の操作許容状態及び特定の操作許容状態が少なくとも用意されており、

前記所定の操作許容状態では、前記操作部として少なくとも所定操作部に対する操作受付と特定操作部に対する操作受付とが許容されるが、前記所定操作部を摸した前記摸画像表示と前記特定操作部を摸した前記摸画像表示とのいずれもが表示されない秘匿区間のみによって構成されうるものであり、

40

前記特定の操作許容状態では、前記操作部として少なくとも前記所定操作部に対する操作受付と前記特定操作部に対する操作受付とが許容されているなかで、前記所定操作部を摸した前記摸画像表示と前記特定操作部を摸した前記摸画像表示とがそれぞれ表示される摸画像表示区間と、前記所定操作部を摸した前記摸画像表示と前記特定操作部を摸した前記摸画像表示とのいずれもが表示されない秘匿区間とが含まれており、前記秘匿区間は、前記摸画像表示区間が開始されてから予め定められた時間が経過したときに現れうるものであり、

前記所定の操作許容状態において、前記特定操作部は、複数回の操作受付が許容可能とされており、該特定操作部に対する操作受付がなされるとこれに応じた受付後変化の１つ

50

としての受付後表示が表示可能とされ、該受付後表示が表示されているなかで前記所定操作部に対する操作受付がなされたとしてもこれを契機として該表示状態にある前記受付後表示が非表示にされることはないようになり、

前記特定の操作許容状態において、前記特定操作部は、複数回の操作受付が許容可能とされており、該特定操作部に対する操作受付がなされるとこれに応じた受付後変化の1つとしての受付後表示が表示可能とされるが、該受付後表示が表示状態にあるなかで前記所定操作部に対する操作受付がなされた場合は、これを契機として該表示状態にある前記受付後表示が非表示にされうるようになり、

さらに、

前記特定の操作許容状態は、特定種別の演出音が可聴出力されているなかで発生する場合と、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する場合との両方があり、

10

前記特定の操作許容状態は、当該特定の操作許容状態が発生する時点で終了している前回の図柄変動が第1変動パターンで実行されていた場合は、前記特定種別の演出音が可聴出力されているなかでは発生せず、前記特定種別の演出音が非可聴の状態にされているなかで発生する

ことを特徴とする遊技機。

【手続補正4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

20

【補正方法】削除

【補正の内容】

30

40

50